

## 最近の管内経済概況

(2023年9月の経済指標を中心として)

～ 緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、弱い動きとなっている。
- 個人消費は、緩やかに改善している。
- 観光は、改善している。
- 公共工事は、増加した。
- 住宅建設は、弱い動きとなっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱含んでいる。
- 企業倒産は、件数は減少、負債総額は増加した。

全体として、管内経済は、緩やかに持ち直している。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2023年11月20日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : [bzl-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp](mailto:bzl-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp)

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

# 管内経済概況判断の推移

(2023年11月現在)

発表月	2023年6月	7月	8月	9月	10月	11月	前月との判断比較
総括判断	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	<u>緩やかに持ち直している</u> (↗)	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
生産活動	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	
個人消費	持ち直している	持ち直している	持ち直している	<u>緩やかに改善している</u> (↗)	緩やかに改善している	緩やかに改善している	
観光	緩やかに改善している	緩やかに改善している	<u>改善している</u> (↗)	改善している	改善している	改善している	
公共工事	<u>増加した</u> (↗)	増加した	増加した	<u>減少した</u> (↘)	<u>増加した</u> (↗)	増加した	
住宅建設	弱まっている	弱まっている	弱まっている	<u>弱い動きとなっている</u> (↘)	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	<u>弱含んでいる</u> (↘)	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	
企業倒産	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも減少した	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	件数は減少、負債総額は増加した	

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

上方修正 据え置き 下方修正

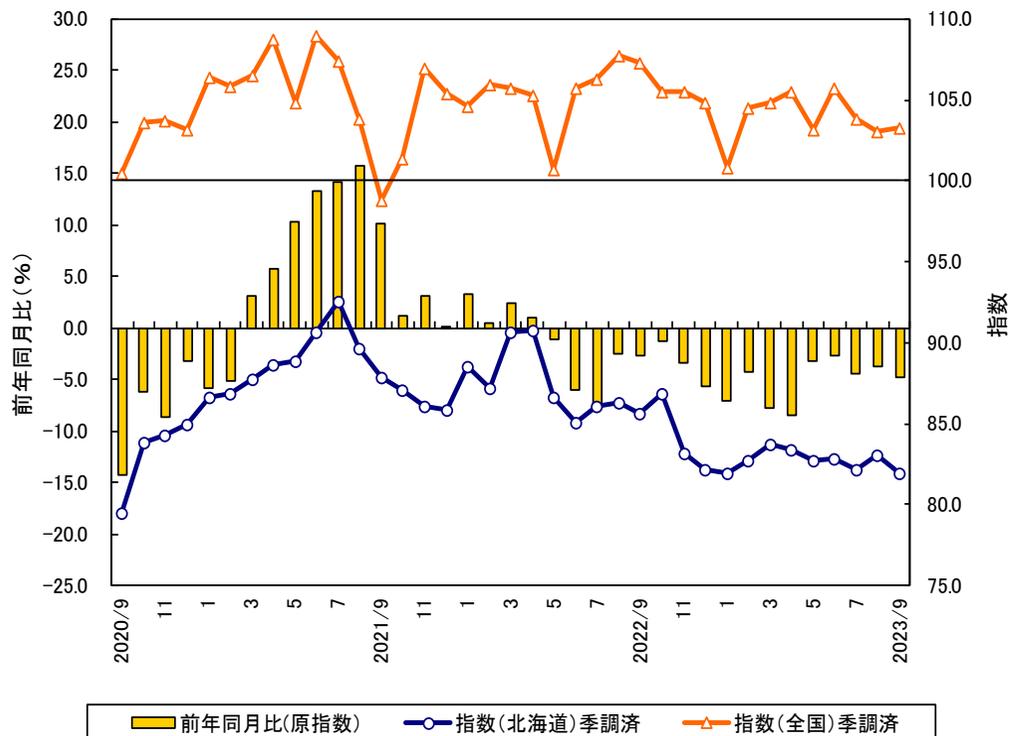
# 生産活動 ～ 弱い動きとなっている ～

9月の鉱工業生産は、前月比▲1.3%と2か月ぶりに低下した。前年同月比は▲4.8%と17か月連続で低下した。低下業種は、金属製品工業など7業種となった。上昇業種は、鉄鋼業など8業種となった。

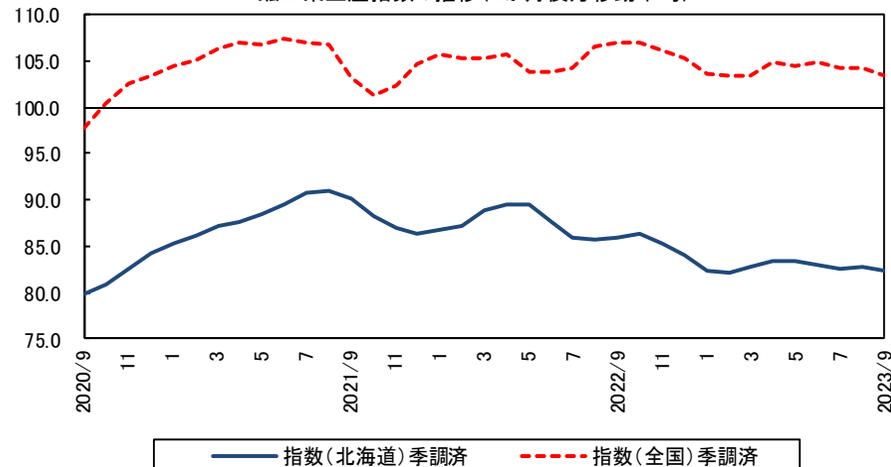
<9月>  
 季節調整済指数  
 北海道(速報) 81.9 (前月比▲1.3%)  
 全国(速報) 103.3 (前月比+0.2%)

	業種	前月比(%)	前年同月比(%)	主な品目
低下 7業種	金属製品工業	▲21.4	+3.0	金属製建具
	一般機械工業	▲8.1	▲6.7	一般機械
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲2.2	▲12.6	洋紙
上昇 8業種	鉄鋼業	+5.6	▲10.5	鋼材

鉱工業生産指数(2015年=100.0) ※全国は2020年基準



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均)



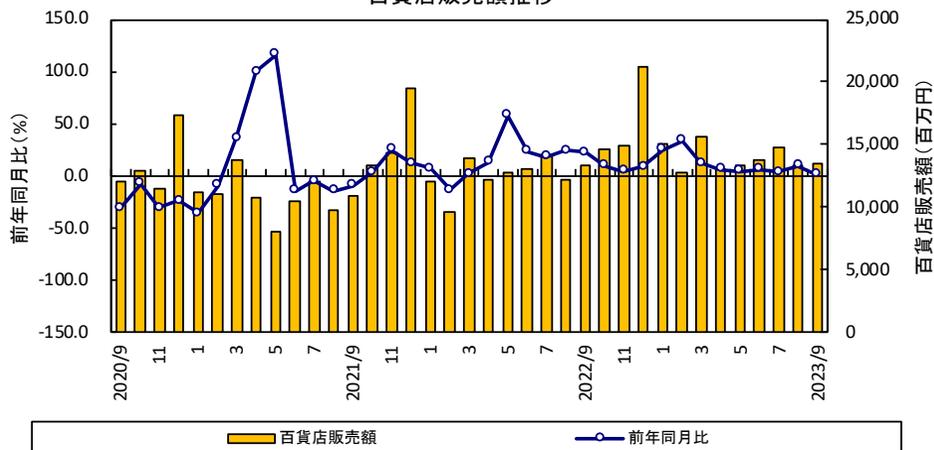
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

# 個人消費 ～ 緩やかに改善している ～

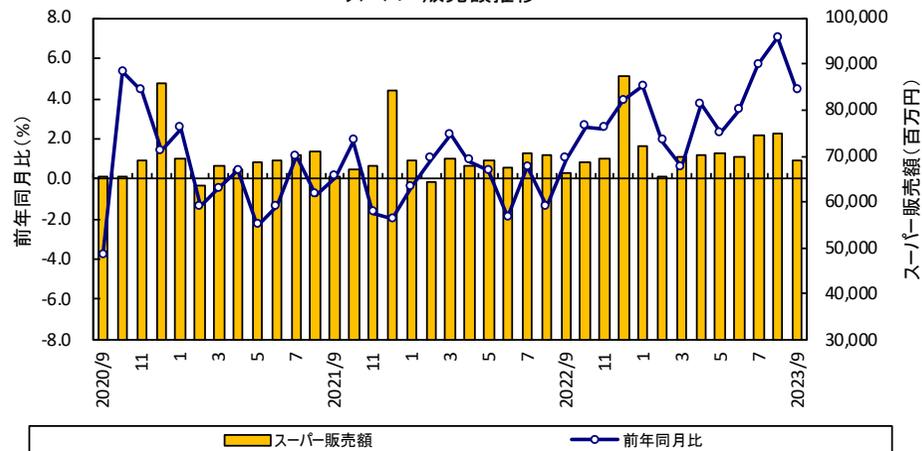
9月の個人消費は、ホームセンターが前年を下回ったものの、他の6業態は前年を上回った。

- 百貨店は、飲食料品などの売上げが好調で、前年同月比+0.9%と19か月連続で前年を上回った。
- スーパーは、値上げの影響もあり飲食料品の売上げが増加し、同+4.4%と13か月連続で前年を上回った。
- コンビニエンスストアは、同+6.6%と23か月連続で前年を上回った。

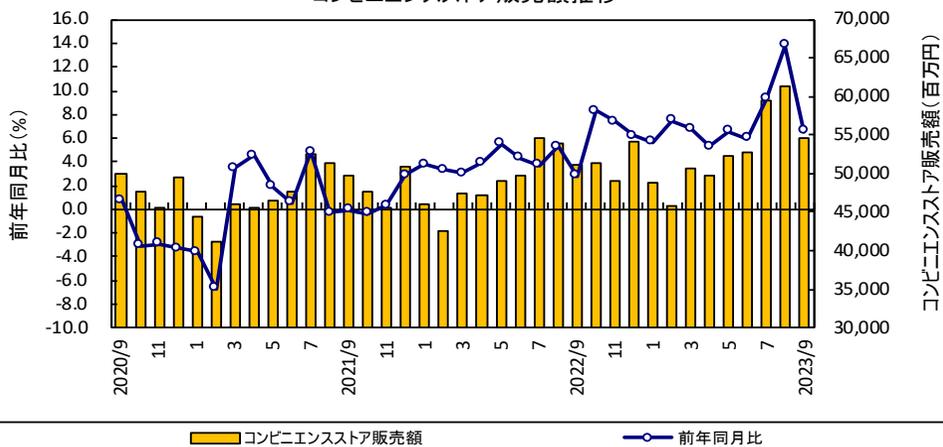
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移



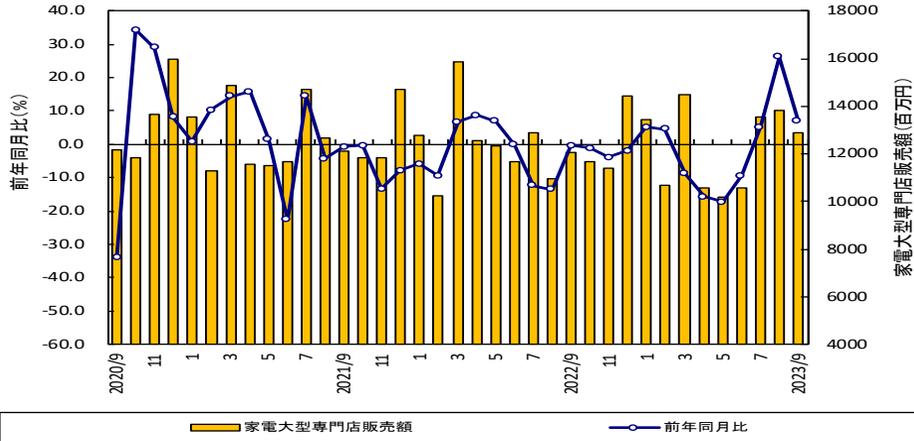
## 【ヒアリング内容】

- 残暑の影響から、ブラウスなど薄手の衣料品が好調だったものの、コートなど秋冬物の売上げは良くなかった。一方で、菓子類の売上げが良かったほか、国内富裕層向けに宝飾品や時計など高級ブランドの資産性の高い商品は好調だった。  
(百貨店)
- 葉物野菜が生育不良で値上がりしたため、鍋物関連商品の売上げが不調だった。生すじこやホタテなどの売上げは好調だった。一方で、節約志向からか、特売時の売上げが引き続き良かった。(スーパー)
- 残暑の影響から、飲料やアイスなどの売上げが引き続き好調だった。一方で、低価格帯の商品の買上点数が増加しているほか、タバコなどの嗜好品の買上点数は減少しており、消費者の節約志向がうかがえる。(コンビニエンスストア)

(資料：北海道経済産業局)

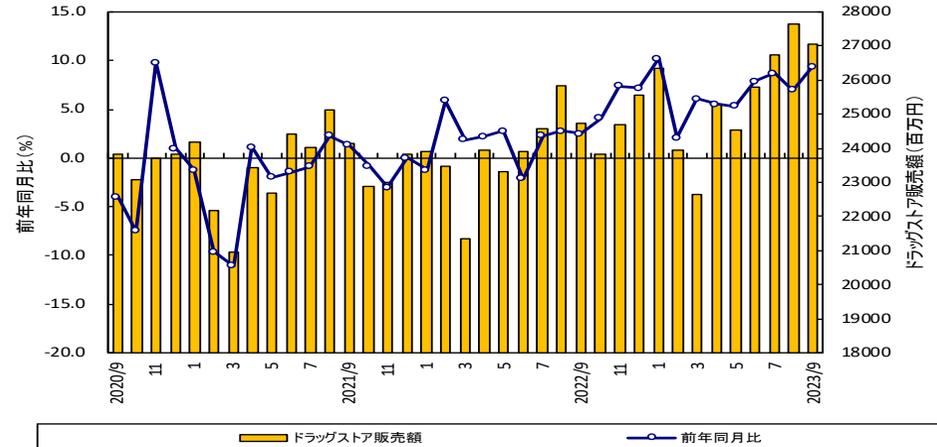
- ・家電大型専門店は、同+7.1%と3か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+9.4%と15か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同▲2.4%と2か月連続で前年を下回った。
- ・新車販売は、同+7.1%と2か月連続で前年を上回った。

家電大型専門店販売額推移



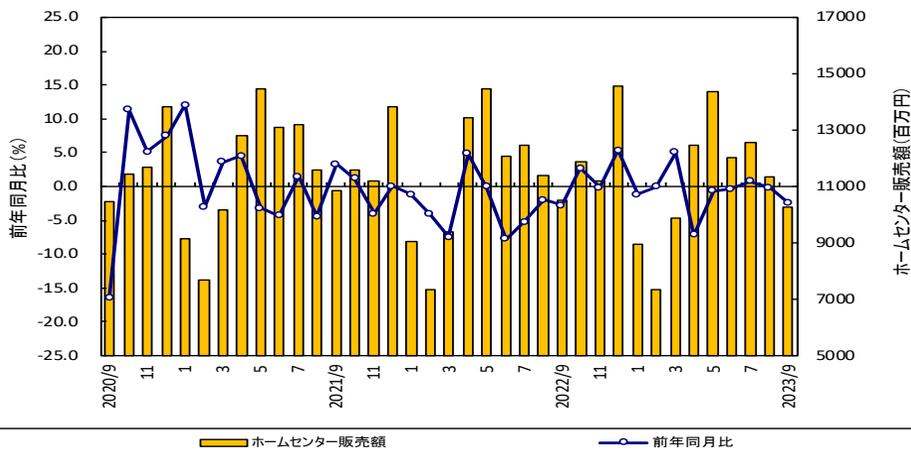
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

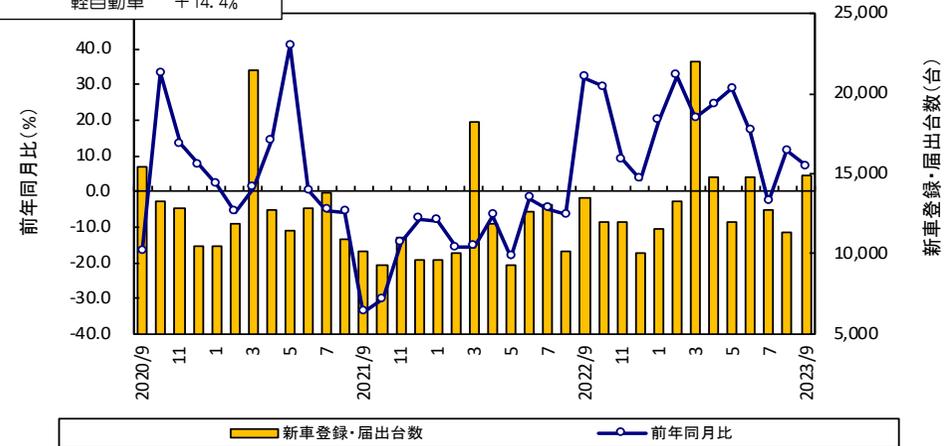
ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

<9月> 普通乗用車 + 3.2%  
 小型乗用車 + 4.4%  
 軽自動車 + 14.4%

新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

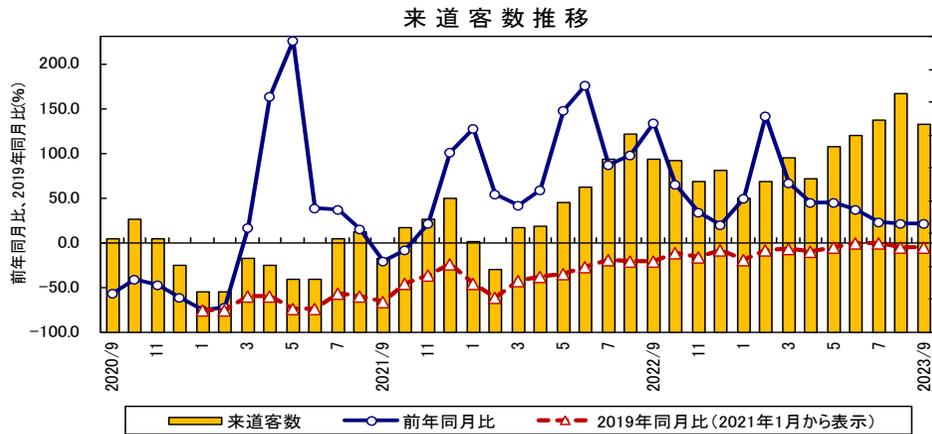
【ヒアリング内容】

- ・前月、例年になく真夏日が続いた影響で、今月に入ってもエアコンの売上げが伸びた。来年も暑くなることを懸念してか、好調だった2年前を大幅に超える売上げとなった。(家電大型専門店)
- ・残暑の影響から、飲料やUVケアの商品が引き続き好調だった。また、節約志向からか、化粧品では比較的低価格帯の商品の売上げが良く、洗濯洗剤など日用品でも単価の低い大容量の商品が好調だった。一方で、高機能高単価の商品も好調で、消費の二極化が見られた。(ドラッグストア)
- ・残暑の影響から、冷感素材の商品は好調だったものの、外で使用するDIY用品やレジャー用品は不調だった。(ホームセンター)

# 観光 ～ 改善している ～

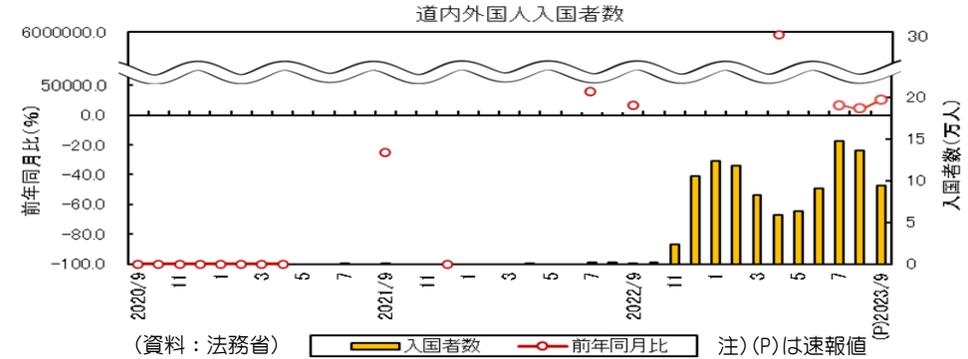
9月の来道客数は、前年同月比+20.7%（2019年同月比▲5.4%）と23か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、94,040人（前年同月差+93,592人）であった。

<9月> 入国者数 94,040人(+20,891.1%)



<9月> 来道客数 1,270,472人(+20.7%)  
 ※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。  
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)

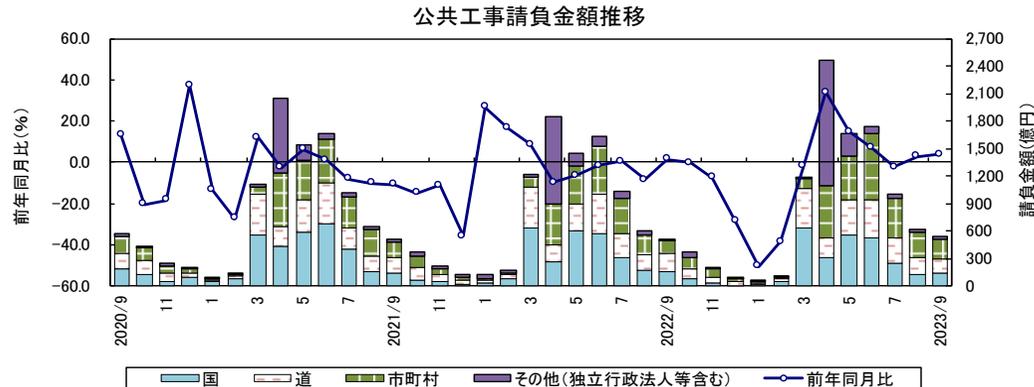


## 【ヒアリング内容】

・9月は、年輩の個人客を中心に平日でも人出が多い状況が続いた。また、インバウンドでは、欧米人の家族連れやグループ客が増えてきたのが印象的で、観光案内所の利用も多かった。10月は紅葉シーズン本番となり、前月より観光客は増える見通し。外国人観光客は、引き続き韓国・台湾が中心であるものの、欧米や東南アジアからの観光客も増えている印象。（観光協会）

# 公共工事 ～ 増加した ～

9月の公共工事請負金額は、国、道は前年を下回ったが、市町村は前年を上回り、前年同月比+3.8%と2か月連続で前年を上回った。



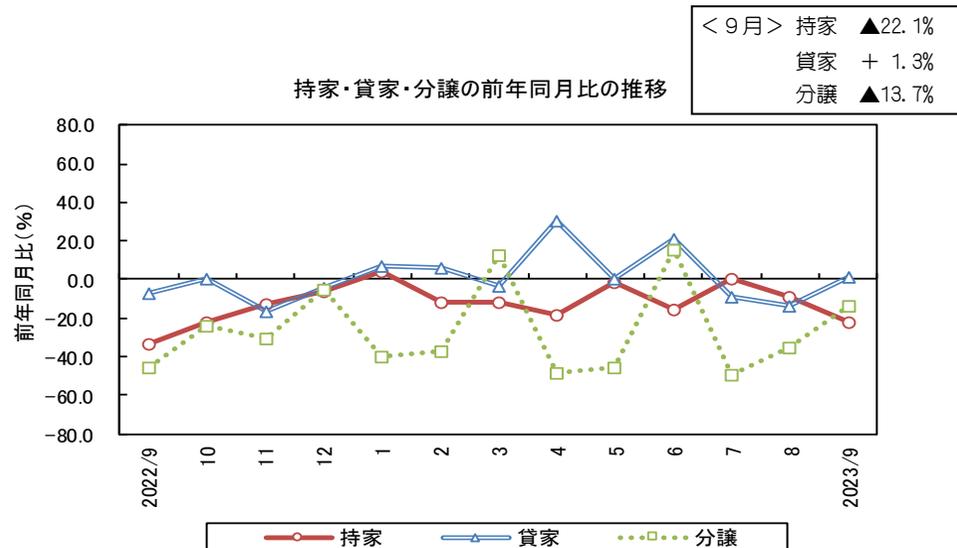
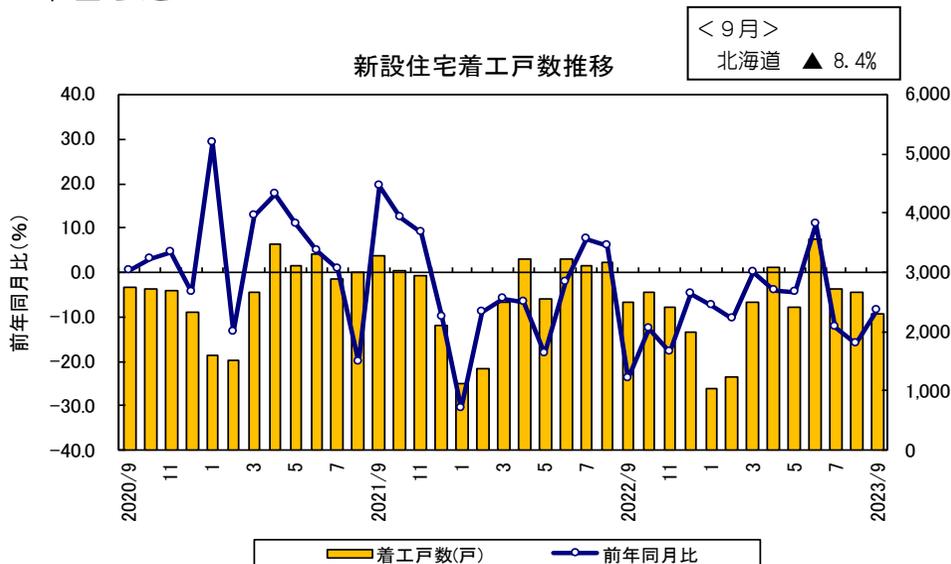
<9月>  
 北海道 +3.8%  
 (内訳)  
 国 ▲9.9% 道 ▲19.9% 市町村 +45.6% その他 +58.2%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

# 住宅建設 ～ 弱い動きとなっている ～

9月の新設住宅着工戸数は、貸家は前年を上回ったが、持家、分譲は前年を下回り、前年同月比▲8.4%と3か月連続で前年を下回った。



(資料：国土交通省)

# 民間設備投資 ～ 増加している ～

2023年度の設備投資計画は、全体で前年度比+0.8%と2年連続で前年度を上回った。

## 日銀短観の設備投資動向

2023年10月2日発表

	2022年度	2023年度
北海道	+ 11.3%	+ 0.8%
製造業	+ 25.6%	+ 24.8%
非製造業	+ 6.8%	▲ 7.9%
全国	+ 9.2%	+ 13.0%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

## 法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2023年9月13日発表

	2022年度	2023年度
全産業	+ 26.0%	▲ 11.4%
製造業	+ 34.7%	+ 13.9%
非製造業	+ 24.0%	▲ 17.9%

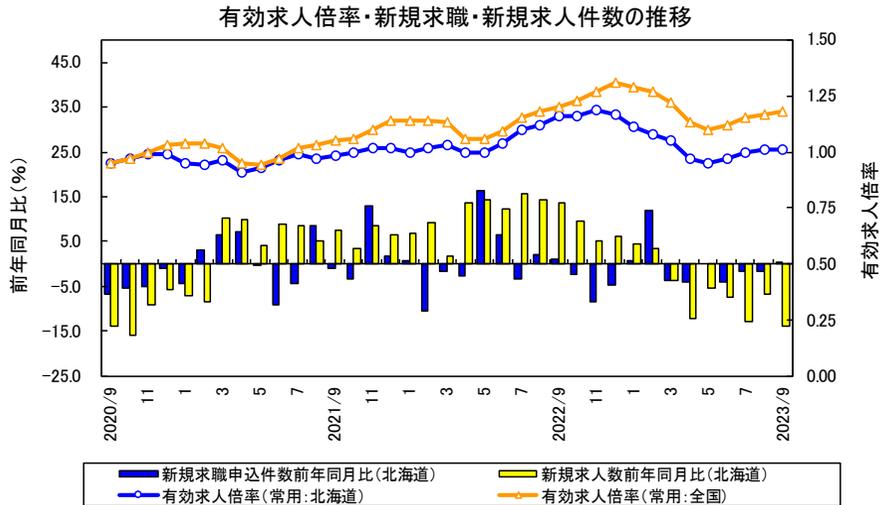
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

# 雇用動向 ～ 弱含んでいる ～

9月の有効求人倍率は、1.01倍と前年同月差0.15ポイント低下し、6か月連続で前年を下回った。

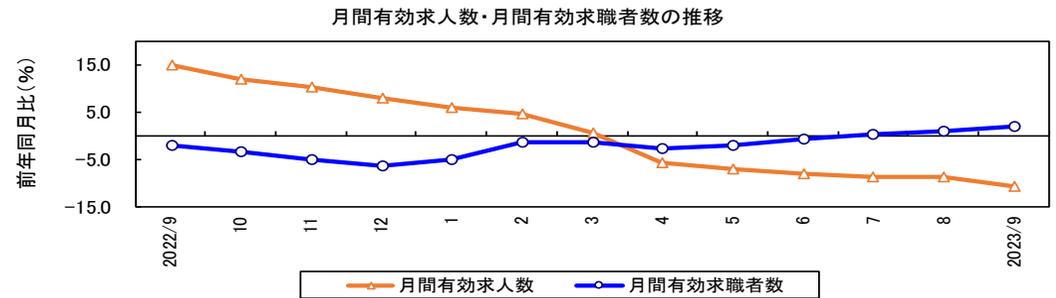


< 9月 >

北海道	有効求人倍率(常用)	1.01倍
	新規求人件数(前年同月比)	▲13.7%
	新規求職申込件数(前年同月比)	+0.5%
全国	有効求人倍率(常用)	1.18倍

< 9月 >

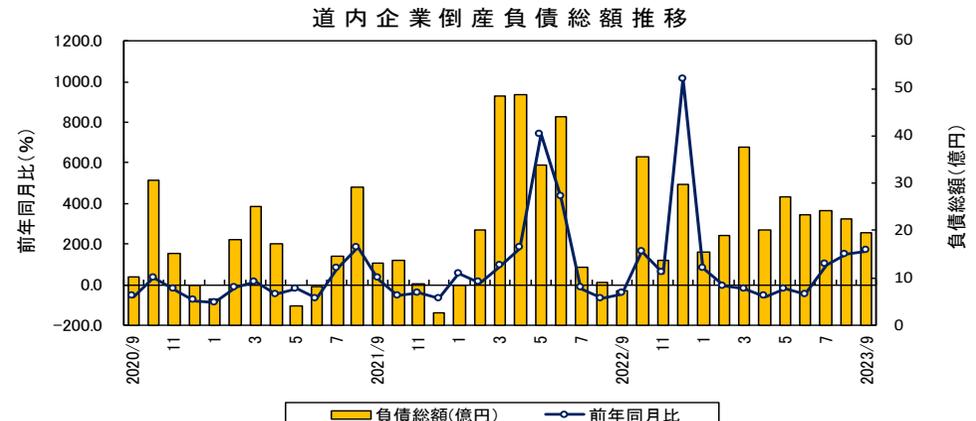
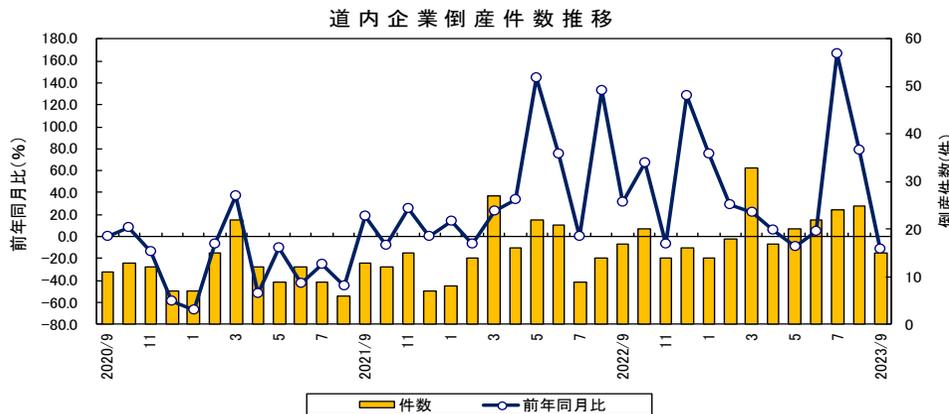
月間有効求人件数(前年同月比)	▲10.8%
月間有効求職者数(前年同月比)	+2.0%



(資料：厚生労働省、北海道労働局)

# 企業倒産 ～ 件数は減少、負債総額は増加した ～

9月の倒産件数は15件で、前年同月比▲11.8%（2件減）と4か月ぶりに前年を下回った。また、負債総額は19.6億円で、同+167.4%と3か月連続で前年を上回った。



(資料：(株)東京商工リサーチ)